

たそがれトークの語り合い

目黒功子／中島三晶／丸山優子／沼田紳介／勝田茅生

恐ろしいコロナ・パンデミックが世界を蔽い、人と人との接近が禁じられる時期が2年ほど続きました。その時期に、ロゴセラピスト協会ではオンラインというデジタル技術を使って、お互いの交流を図る企画をいくつか考え出しました。特別レポート、特別講演、ロゴ・トーク、聖書トーク、子どもの問題を考える会、たそがれトークなどが立ち上がりました。そのほとんどは、現在でも続いています。

「たそがれトーク」は、いわゆる後期高齢者と呼ばれる年齢のロゴセラピストたち10名ほどで2021年4月に発足しました。6年目に入った現在でも、偶数月の第一土曜日に毎回ほとんど全員が出席し、1時間半のトークを重ねています。毎回、フランクルの著書の一部、あるいは他の思想家の引用文、詩、絵本・童話などがテーマとして与えられ、それについて3～4人で語り合います。そして次の回までに、そのテーマを軸にして自分の人生について書くということが宿題です。

自分の生き方を正直に振り返り、「意味」の観点から認識し、それを文章にするというのは、フランクルの言う「自己距離化」の能力です。ここにご紹介する4つの文章は、5年間のほんの一例ですが、それぞれの人の「自己認識」が素晴らしい形で開示されていることがお分かりになると思います。

勝田茅生

目黒功子

フランクル「人生の使命的性格」を読んで 2021.6.15